

■第18回地域関連研究発表会

東三河地域内で、地域研究を行う3大学（愛知大学、豊橋技術科学大学、豊橋創造大学）の協力により、地域研究紹介の場として、卒業論文・修士論文等の発表会を開催した。

愛知大学から1名、豊橋技術科学大学から3名、豊橋創造大学から3名の発表があった。（詳細は、機関誌「東三河地域研究」通巻116号を参照。）

(1) 日時：平成24年3月8日（木）13：30～16：30

(2) 場所：名豊ビル 8階 ホールD

(3) 発表者：

①「欧州における地域空間戦略とガバナンス」

高松亮太氏（豊橋技術科学大学院建築・都市システム学専攻修士1年）

②「浜松市の市街化調整区域における市街地縁辺集落制度に関する研究」

大平啓太氏（豊橋技術科学大学院建築・都市システム学専攻修士1年）

③「北海道の移住・定住政策に関する研究

～北海道移住促進協議会の加盟自治体をケーススタディとして～

仲西達也氏（豊橋技術科学大学建設工学課程4年）

④「蒲郡市三谷における漁村の存立条件」

高木秀和氏（愛知大学大学院文学研究科地域社会システム専攻博士課程）

⑤「キャッシュ・フロー会計情報に関する基礎的考察

～黒字倒産企業でみる会計利益との相違～

西郷鎮廣氏（豊橋創造大学大学院経営情報学研究科起業・経営専攻2年）

⑥「鞆の携帯方法の違いが高齢者の立ち上がり動作に与える影響」

武山智子氏（豊橋創造大学大学院健康科学研究科修士課程2年生）

⑦「脊柱腰部の可動性と立位時の平衡機能の関係評価」

山本喬大氏（豊橋創造大学保健医療学部 理学療法学科3年生）